

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010150

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	B		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町学校教育振興推進協議会補助事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	協議会の安定運営			#N/A		
事業目標	1団体		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

		全体計画	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	町内全教育機関の連携による学校教育内外の活動と教職員資質の向上を図るための協議会に対する運営補助	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助	運営補助
	事業費(千円)	5,200	1,000	1,000	1,200	1,000	1,000
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	5,200	1,000	1,000	1,200	1,000	1,000	
実績事業費	事業費(千円)	1,838	954	884	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	1,838	954	884				
関連事項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		運営補助金の交付	運営補助金の交付			
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率		95%	88%	0%	0%
	全体達成率		18%	35%	35%	35%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	雄武町学校教育振興推進協議会補助事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係長	武 藤 知 憲

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	児童・生徒・教職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	協議会の安定した運営	
【抱える課題やニーズは】	児童生徒数の減少による、教職員の定数配置の減少に伴い、学校経営・運営に支障を来している。	指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内の全教育機関が連携し、専門部会ごとの課題検討や協議によって教職員の資質向上と時代の変化に対応した均質な学校経営、運営を進める。	① 運営団体数	目 標 年 度	平成26 年度
			目 標 値	1 団体
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	雄武町教育目標の達成に向けて町内の全教員が同じ認識のもとに学校経営・運営を行うとともに、教職員の資質向上によって児童生徒が時代の変化に対応した、より良い教育を受けることができる。	②	実 績 値	1 団体
			達 成 度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	協議会への運営補助	協議会の安定した運営に向け、運営費を助成しています。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	大きく変化する教育情勢に対応するため、町内の全教育機関が連携し、専門部会ごとに課題検討、協議を進め、教職員の資質向上、時代の変化に対応した均質のある学校経営、運営を行うためにも運営補助は必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	安定した協議会運営がなされ、各種部門部会での積極的な課題検討が行われるとともに、教職員の資質向上に向けた研修も行われており、各学校間の連携も図られていると判断します。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	活動に見合う効率的かつ効果的な運営を促しており、補助金についても、運営状況の精査を行うなど効率化に努めています。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各学校において、成果に基づく均質ある教育が進められているほか、全教職員の資質向上に対して、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
時代の変化に対応した均質のある学校経営、運営が行われており、計画どおり事業が進んでいます。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
変化する教育情勢に対応し、適切な学校経営及び運営並びに協議会組織を活用した事業を展開することにより教職員の資質向上が推進されており、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止